

平成19年 4月27日

関係高等学校長様

千葉県高等学校教育研究会  
視聴覚部会長 今井賢治  
(公印省略)

## 第54回 NHK杯全国高校放送コンテスト千葉県大会のご案内

このことについて、下記により開催致しますので、校務御多忙中のところ誠に恐縮ですが、多数の参加をいただきたく、御案内申し上げます。

### 記

1. 目的 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報発信としての放送活動の発展をはかる。
2. ねらい (1) 美しく豊かな日本語を大切にする心情を育て、あわせて話す力、表現する力を高める。  
(2) 情報発信者としての自覚を高め、あわせて創造性を育てる。  
(3) 社会との関わりに目を向け、放送の果たす役割を学ぶ。  
(4) 人間尊重の心を培い、国際理解を深める放送の働きを確かめる。  
(5) 学園生活の中にうるおいを育て、心のふれあいの場をつくる。
3. 研究主題 「私たち高校生と放送」  
高校生の連帯、先生方とのきずな、地域や社会への結びつきを、日常生活の中で考え、主体的に放送活動に展開すること。
4. 主催 千葉県高等学校教育研究会 視聴覚部会  
NHK千葉放送局
5. 後援 千葉県教育委員会 (申請中)  
千葉県高等学校長協会 (申請中)  
千葉県私立中学高等学校協会 (申請中)
6. 会場・期日  
(1) アナウンス、朗読部門地区予選 4頁参照  
(2) 番組、研究発表部門予選 6月12日(火) (公開)  
於 NHK千葉放送局  
(3) 本選 6月22日(金) 9:30～17:00 (公開)  
於 千葉県教育会館大ホール

※ **番組・研究発表部門予選**では、応募本数により予選において県代表を決定し、本選において作品発表のみを行う場合もある。

7. 審査 主催者が委嘱した審査員が行う。  
予選審査については参加校の顧問を中心に行う。  
特に研究発表および番組部門予選では、全参加校顧問が審査を行う。  
採点は、校内放送として望ましいあり方に重点をおく。

8. 参加要項 (詳しくは全国大会ホームページ <http://www.nhkk.or.jp> よりダウンロードした『校内放送研究142号』を参照すること。)

(1) 研究発表部門

- ・ 日常の校内放送活動の中から、問題解決の努力または技術的な創意工夫などを機材調整を含めて8分以内で発表する。
- ・ 申し込みは1校1研究のみとする。
- ・ 研究内容の要旨(200字程度)とそのテキストデータを提出する。
- ・ 原則として、予選において発表を行い県代表を決定し、本選での審査及び発表は行わない。本選において発表を希望する学校に発表の機会を与える場合もある。  
※ 県代表は全国大会において「校内放送研究発表会」で発表を行う。

(2) アナウンス部門

- ・ 自校の校内放送に使用する内容とし、原稿を生徒が自作したものに限る。
- ・ 番号、氏名を含め1分10秒以上1分30秒以内でアナウンスする。校名は読まない。  
〔原稿は校内放送研究142号様式1によりA4用紙で**2部**作成する〕

(3) 朗読部門

- ・ 次の指定作品の中から1編を選び、朗読する。作品の改変は認めない。
  - 1) 「三四郎」 夏目漱石 著 (角川文庫)
  - 2) 「鞆に本だけつめこんで」 群ようこ 著 (新潮文庫)
  - 3) 「リセット」 北村 薫 著 (新潮文庫)
  - 4) 『阿Q正伝・狂人日記』より「阿Q正伝」  
魯迅 著 竹内好 訳 (岩波文庫)
  - 5) 「五重塔」 幸田露伴 著
- ・ ( )内の出版社に限る。
- ・ 番号、氏名、作者名(訳者名は読まない)、作品名を含め1分30秒以上2分以内で朗読する。校名は読まない。
- ・ 2) は収録作品のいずれを選んでよい。
- ・ 4) は指定作品のみ。2006年新版に限る。
- ・ 5) は現代語訳不可、出版社は問わない。
- ・ 作品名の読み方は
  - 2) は「鞆に本だけつめこんで」とし、小題を読まない。
  - 4) は「阿Q正伝」とする。

〔原稿は校内放送研究142号様式1によりA4用紙で**2部**作成する。〕

(4) 番組各部門

参加作品をNHKの地域番組や夏のラジオクラブ、テレビクラブ等で放送することがあるので、制作にあたっては、番組に登場する著作物や出演者、協力して頂いた方々に放送のための承諾を得ておくこと。放送許諾が得られないときには放送できないことがある。

★ドキュメント部門（ラジオ・テレビ各部門）

- ・ 高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオ・テレビの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切にした、独創的な作品であること。
- ・ ラジオドキュメント部門では6分30秒以上7分以内、テレビドキュメント部門では7分30秒以上8分以内でまとめる。

〔台本は校内放送研究142号様式2に従ってA4用紙で**2部**作成〕

- ・ 制作意図をテキストデータとして作品と共に提出すること。
- ・ 詳細は下記ラジオ・テレビ各規定による

★創作ドラマ部門（ラジオ・テレビ各部門）

- ・ ラジオ部門・テレビ部門とも8分以内でまとめる。

〔台本は校内放送研究142号様式2によりA4用紙で**2部**作成〕

- ・ 脚本は参加資格を有する自校生徒でのオリジナル作品であること。  
(文芸作品などからの脚色や改作は認めない。)
- ・ 出演者は自校生徒に限る。
- ・ 台本の3・4頁は様式2-3によりドラマのあらすじとすること(A4用紙)。
- ・ 制作意図およびあらすじをテキストデータとして作品と共に提出すること。
- ・ 詳細は下記ラジオ・テレビ各規定による。

<ラジオ規定>

- ・ 作品はMDに標準モードで録音する。  
(LPモード、Hi-MDは不可)
- ・ **MDはトラックを1つにまとめること。**
- ・ 作品の最後には「制作は〇〇高等学校(放送部・放送委員会等)でした。」というクレジットコールを入れる。
- ・ 計時は最初の音から、クレジットコールの終わり(……でした)までとする。
- ・ 様式2(校内放送研究142号)による台本〔A4用紙〕を作成し、**2部**提出する。

<テレビ規定>

- ・ 作品はVHSテープにVHS方式の標準モードで録画し、音声はHi-Fiのみ使用する。
- ・ 作品の最後には、制作した学校のクレジットタイトルを入れる。作品の前後には10秒ずつ様式3のテストパターンを録画する。この際、**テストパターンを改変してはいけない。**
- ・ 計時は初めのテストパターンの終了時から終わりのテストパターンの始まりまでとする。
- ・ テレビ放送番組等の再録を主体としたものは認めない。
- ・ 様式2(校内放送研究142号)による台本〔A4用紙〕を作成し、**2部**提出する。

9. 参加資格及びその制限

- ・ 2007年6月および7月に、千葉県内の高等学校等に在学中の生徒及びその作品であること。(詳しくは校内放送研究142号5頁参照)
- ・ アナウンス、朗読部門の参加は、1名1部門とする。
- ・ アナウンス・朗読部門の1校あたりの参加数は、各部門3名を上限とする。  
※ 昨年度の県代表生徒が同じ部門に参加する場合は、この生徒に加え3名とする。
- ・ 番組制作の各部門は、高校生の創作に限る。また、他のコンクールなどに参加した作品の参加は認めない。
- ・ 参加作品の著作権は主催団体に帰属する。応募された作品などは、主催者に関連する印刷媒体、ホームページ、放送などで利用することがある。また同じ作品を他の団体の主催するコンクール等に応募することはできない。

- ・ 番組は1部門につき、1校1作品とする。  
 ※「ドキュメント部門（ラジオ・テレビ）」・「創作ドラマ部門（ラジオ・テレビ）」  
 のそれぞれに参加することができる。（最大4作品可）

10. 参加申し込み及び参加費

(1) アナウンス・朗読部門

- ・ 参加申込書を、地区予選の担当者宛に締切日必着で提出する。
- ・ 原稿2部（様式1・A4用紙）と 参加費（一人につき1,500円）については、予選当日に持参し、受付に提出する。  
 ※ 当日欠席した場合でも、申し込んだ人数分の参加費は申し受ける。
- ・ シード=前年度の県代表者が同一部門に参加する場合は、地区予選で審査を行わず地区代表に加えて県大会に進出する。申込時、用紙のシード欄に必要事項を、備考欄に参加部門名を記入する。この場合参加生徒数の上限は、3名+前年度県代表者となる。

(2) 研究発表・ドキュメント・創作ドラマ部門

- ・ 参加申込書を、千葉県立検見川高等学校 石井 淳 宛、6月5日(火)17時までに提出する。
- ・ 作品・台本（2部）・研究発表要旨及び参加費（1作品につき1,500円）、研究発表部門・ドキュメント部門・創作ドラマ部門についてはテキストデータ等も併せて、6月12日(火)予選当日9時30分に顧問の責任で予選会場に提出する。  
 ※ トラブルに対処するため、同じ作品を収めたバックアップ（ラジオ部門ではカセットテープ、テレビ番組部門ではVHSテープ）を用意すること。なおこれらにはドルビー等のノイズリダクション方式を使用してはいけない。  
 ※ 作品・台本等は、作品ごとに封筒に入れて提出すること。封筒の表面には、参加部門名、学校名、作品名を明記すること。  
 ※ 参加校顧問は、その後の予選審査を行うこと。
- ・ 提出時刻に遅れた作品は失格とする場合がある。  
 ※ JASRAC 管理音楽著作権処理の録音利用明細書は事前に各校で JASRAC ホームページから入手し、記入したものを使用料とともに6月12日(火)に提出する。

11. 地区予選（アナウンス、朗読部門）

予 選 に つ い て			申 し 込 み に つ い て			
地区	予 選 日	会 場	締 切	提 出 校	担 当 者	T E L F A X
A	6月 8日(金)	NHK千葉放送局	6月 1日(金)	実  朶	陶  山	047-479-1144 047-474-5600
B	6月 4日(月)	NHK千葉放送局	5月28日(月)	鎌ヶ谷	羽  根	047-444-2171 047-445-9366
C	6月 6日(水)	NHK千葉放送局	5月30日(水)	成  田	和  泉	0476-22-2131 0476-23-0234
D	6月11日(月)	県立茂原樟陽高校 文化ホール	6月 4日(月)	一宮商業	尾  形	0475-42-4520 0475-42-7418
E	6月 8日(金)	拓殖大学紅陵高校	6月 1日(金)	市原中央	岡  本	0436-36-7131 0436-36-7141

住 所 ・ 千葉県立実朶高等学校 〒275-0003 習志野市実朶本郷2-2-1  
 ・ 千葉県立鎌ヶ谷高等学校 〒273-0115 鎌ヶ谷市東道野辺1-4-1

- ・ 成田高等学校 〒286-0023 成田市成田 2 7
- ・ 千葉県立一宮商業高等学校 〒299-4301 長生郡一宮町一宮 3 2 8 7
- ・ 市原中央高等学校 〒290-0215 市原市土宇 1 4 8 1 - 1

※ 予選の日程は、原則として受付完了9時30分、予選開始10時とする。  
(詳しくは、各地区の担当者にご確認ください。)

※ 地区割については、8頁以降参照。

※ 審査は地区担当者の依頼により、放送委員会(部)顧問およびNHK千葉放送局の職員が行う。

## 1 2. その他

- ・ 本年度は、予選において研究発表部門の発表を行う予定である。この部門に参加する場合には発表の準備して予選に臨むこと。
- ・ アナウンス、朗読部門は各6名、番組についてはドキュメント部門(ラジオ・テレビ)は各4作品を、創作ドラマ部門(ラジオ・テレビ)は各2作品、研究発表部門については2校を上限に、県代表として全国大会に推薦する。
- ・ 全国大会に推薦された場合は、全国大会参加費のうちの半額を県大会当日に徴収する。
- ・ 著作権処理は校内放送研究第142号を熟読し、各校で責任をもって確実にを行うこと。  
使用した著作物の使用許諾を示す書類の写しを必ず台本に貼付する。
- ・ 音源制作会社から使用許可がでた JASRAC 管理音楽の著作権料については一括処理するので、番組提出時(6月12日)に必要な事項を記入した明細書と使用料を用意すること。
- ・ インターネット上で配布されている著作権フリーの音源は、権利関係を確認することが困難なため使用を禁止する。
- ・ 参加規定に違反した場合や締め切り時刻に間に合わなかった場合は失格とすることがある。
- ・ 参加作品(ドキュメント・ドラマ)は、全国大会に推薦された作品も含めて県大会当日返却するので必ず受け取ること。
- ・ アナウンス・朗読部門の優秀者の中から、全国高等学校野球選手権千葉大会開会式(7月12日)・閉会式(7月28日)の司会、千葉県サッカー選手権大会準決勝(8月26日)の場内アナウンサーを推薦する。
- ・ このコンテストのために集められた個人情報については、コンテストおよびその関連事業の目的以外使用しない。

## 1 3. 問い合わせ先

各地区担当者(4頁)または

千葉県立検見川高等学校 石井 淳  
Tel. 043-278-1218  
Fax. 043-278-4733

全国大会ホームページ : <http://www.nhkk.or.jp/>

千葉県大会ホームページ : <http://homepage3.nifty.com/ncon-chiba/>

千葉県大会参加申込書

アナウンス・朗読 部門

学校名				住所 〒	
ふりがな 顧問名 e-mail				学校TEL	Fax
部 門	No.	ふ り が な 氏 名	学 年	作 品 名 (作品番号)	備 考
アナウンス				*****	
				*****	
				*****	
朗 読				( )	
				( )	
				( )	
シード					部門
シード					部門
シード					部門

領 収 書

平成19年 月 日

\_\_\_\_\_ 高等学校 様

¥ \_\_\_\_\_

ただし、アナウンス部門 名、朗読部門 名  
参加費として、上記金額を受領いたしました。

NHK杯全国高校放送コンテスト  
千葉県大会地区予選事務局

\_\_\_\_\_ 印

第54回NHK杯全国高校放送コンテスト

千葉県大会参加申込書

番組・研究発表 部門

学校名			住所 〒
ふりがな 顧問氏名 e-mail			学校TEL <span style="float: right;">Fax</span>
部門	作品名		代表 <sup>ふ</sup> 生徒 <sup>りが</sup> 氏名 <sup>な</sup>
ドキュ メント	ラジオ		
	テレビ		
創作 ドラマ	ラジオ		
	テレビ		
研究発表			
番組予選参加予定生徒数		名	※ 制作にかかわった生徒の人数を、 備考欄に記入して下さい。

領 収 書

平成19年 月 日

\_\_\_\_\_ 高等学校 様

¥ \_\_\_\_\_

- ただし、
- ラジオドキュメント部門
  - テレビドキュメント部門
  - 創作ラジオドラマ部門
  - 創作テレビドラマ部門
  - 研究発表部門

合計 \_\_\_\_\_ 作品

参加費として、上記金額を受領いたしました。

※該当する□欄にレ印を各校で入れて下さい。

NHK杯全国高校放送コンテスト  
千葉県大会番組予選事務局

\_\_\_\_\_ 印